



2022年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社エムアップホールディングス
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 美 藤 宏 一 郎
 (コード番号：3661)
 問 い 合 せ 先 取 締 役 総 務 経 理 部 長 藤 池 季 樹
 TEL. 03-5467-7125

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の通期連結業績予想を修正することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2022年3月期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	百万円 13,600	百万円 1,300	百万円 1,300	百万円 830	円 銭 21 39
今回予想（B）	13,600	1,700	1,700	1,000	27 41
増減額（B-A）	-	400	400	170	
増減率（%）	-	30.8%	30.8%	20.5%	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	12,325	1,107	1,168	633	17 38

(注)当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症により、多くのライブやコンサートが中止、延期となるなど、当社グループの業績に対する影響を予想することは困難であり、当初計画の公表時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定し、公表いたしておりました。

2022年3月期におきましては、ライブ、コンサートに徐々に再開の動きが見られ始め、それに伴い収益の基盤となるファンクラブ/ファンサイトの会員数も増加に転じたことで、売上高は当初の計画通りに推移する見通しです。

一方、利益面では、一次流通及び二次流通ともに電子チケットの取り扱いが想定を超えて発生したこと、上期において反動減が見られたECセグメントに関しても下期には取り扱いが拡大するなど、利益率の高いサービスの売上構成割合が高まったことから、第3四半期連結累計期間にて当初計画を達成するなど、好調に推移しております。

変異株をはじめ新型コロナウイルス感染症の影響はなお続くと想定されるものの、第4四半期においてもこれまでの収益トレンドが継続する見込みです。

費用面では、第4四半期において新規サービスの開始を予定していることや、業績が好調に推移していることから来期以降の将来の事業に対する先行投資を行い、開発費等として約2億円の計上を予定しております。

以上の通り、2022年3月期の業績は当初の予想を上回る見通しとなったため、上記の通り修正いたします。

<見通しに関する留意事項>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の経済情勢や、事業運営における環境変化、あるいは見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

以上